

青年部∞四季報

2003年
1月
冬号

発行者 (社)福島県建築設計協会 県北支部 青年部 情報委員会
 所在地 〒960-8043 福島市中町4-20 みんなビル
 電話 (024)521-4033 FAX(024)521-5087
 特集 設計協会青年部では、他団体との交流も活動の柱として掲げており、その一環として参加協力させていただき、大成功を収めた『福島藩就封三百年関連行事』を特集として取り上げます。

特集

福島藩就封三百年関連行事

10月25日(金)に設計協会青年部では、福島県史学会会員の太田隆夫氏を招き『福島藩就封300年の歴史』について講演して頂きました。福島は、元禄15年(1702)から廃藩置県を迎える明治4年(1871)までの170年間、板倉家12代により治められてきました。当時の、福島城というものは、天守閣という高い建物はなく周りをいくつもの堀や土塁で囲んでおり東西が約880m、南北が約600m、面積が25万㎡(信夫ヶ丘競技場7個分)という大きな平城だったそうです。明治になり、福島県庁や陸軍施設を置くために建物や堀や土塁は、整地されて福島城は姿を消したそうです。



講演会の様子

11月3日(日)に福島では、68年ぶりに大名行列が復活しました。設計協会青年部も大名行列・警備係として参加協力させて頂きました。

§ 大名行列を終えて §

福島藩主板倉氏の就封300年を記念して、(社)福島青年会議所を中心に福島市の7つの団体で構成された「福島城下三つの元気事業実行委員会」が大名行列を主催しました。大名行列を行うにあたっては、大きく三つの目的があり、一つ目は、福島市が城下町であったということを市民の方々へ再認識していただき、今後歴史を踏まえたまちづくりを進め、中心市街地の活性化に少しでも役に立てればということでした。二つ目は、板倉氏と親戚関係にあった相馬藩の野馬追い、米沢藩の鉄砲隊にも行列に参加していただき、相馬、福島、米沢三都市の横軸連携相互交流を深めたいということでした。三つ目は、(社)福島青年会議所が、提案している「馬とふれあえるまち福島」構想を実現するために、まちなかに馬を走らせたいということでした。たくさんの市民の方が、大名行列を見に来ていただいたことで、多くの方に福島の歴史について興味をもって頂けたと思います。行政と市民団体が一緒に事業に取り組み、それぞれの役割を十分に果たして、15万人もの市民を中心市街地に集めたことは、歴史に残る大成功であったと自負しております。

(大名行列実行委員長 青柳 努)

§ 大名行列に参加して §

当日は雨も降らず、沿道にはたくさんの方が見物に訪れており、その中を『下々に下』と声をだしながらの行進は非常に緊張しましたが、板倉氏就封300年を記念するイベントに参加できた事はとても良い思い出になりました。

(設計協会青年部会員 熊田 和弥)

福島大名行列



大名行列の様子



旧米沢藩鉄砲隊による鉄砲奉納



青年部参加者

紺野典子氏講演会

これからの地方経済 ~強いふくしまの実現~



大勢の方が詰め掛けた講演会

去る平成14年11月13日(水)にウエディングエルティにて、地方の活性化やこれからのまちづくりをテーマに、地方からの景気浮揚策を考えようという目的で開催されました。今回は、実行委員会の構成団体として、今まであまり交流がなかった市内の各団体青年部がスクラムを組みました。団体の枠を越えて互いに交流し、連携を深めることが、これからの福島のまちづくりに大変意味あることであり、後世に残すべきより良い福島を目指す第一歩であろうと思われます。そのためには、我々設計協会青年部会員一同は努力や協力を惜しまぬ覚悟です。今こそ立ち上がれ!ふくしまの青年たちよ!

トピックニュース (部外情報)

「市民協働まちづくりフォーラム」

主催 福島城下三つの元気事業実行委員会

目的: 大名行列の体験から今後のまちづくりについて、どのように取り組むべきか、何が必要なのかを検討するため開催いたします。当日は、福島城下大名行列フォトコンテスト入選作品の紹介や、「福島城下の歴史ミニ講演」、「福島城下大名行列」の事業報告や、パネルディスカッションを予定しております。どうぞ多数の方のご出席をお願い申し上げます。

開催時期: 平成15年3月1日(土)午後1時30分より

予定場所: 福島ルミネ5階ネクストホール。

~各委員会活動報告~

総務会員委員会(原田信弘委員長)

2003年1月現在までに、総会、臨時総会、第1回~第4回例会の設営を行い、青年部会員名簿や名刺も作成しました。現在は、創立1周年記念祝賀会と第5回例会の企画準備中です。

政策委員会(大内一弘委員長)

福島市内の古き良き建物をMAP化するという政策委員会事業も第5回で全建物調査を完了し、現在集積データの整理と検討を行っております。今年度中にMAP化、発表ができるよう準備を進めています。

研修委員会(家名田秀昭委員長)

2002年6月に、若手建築家の作品をピックアップした第1回研修旅行を実施し、第2回(8月)例会では技術研修会を催しました。現在は、第2回研修旅行を3月に実施するため企画準備中です。

情報委員会(蛭川礼二委員長)

青年部 四季報(創刊号)(秋号)(冬号)の発行と、青年部内外の情報を情報委員会インフォメーションとしてメール発信してきました。今年度最後となる青年部 四季報(春号)の発行準備にとりかかっています。